

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道13号	河辺拡幅	L = 6.6 km	一般国道	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,900～20,400	4	東北地方整備局

① 費用

	改 築 費	維持修繕費	合 計
基 準 年	平成17年度		
単純合計	177億円	79億円	256億円
うち残事業分	119億円	54億円	173億円
基準年における 現在価値 (C)	163億円	27億円	190億円
うち残事業分	92億円	19億円	111億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成17年度			
供 用 年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	23億円	0億円	0億円	23億円
基準年における 現在価値 (B)	317億円	4億円	2億円	323億円
うち残事業分	219億円	3億円	0億円	222億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	1.7
費用便益比 (残事業)	2.0

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	14,900~20,400	±10%	1.5~1.9
事業費	177	±10%	1.6~1.8
事業期間	24	±20%	1.4~2.0

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	14,900~18,900	±10%	1.8~2.2
事業費	119	±10%	1.9~2.2
事業期間	9	±20%	1.9~2.2

交通状況の変化

事業名：河辺拡幅（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 [バイパス等] : 6.6km	交通量	[台/日]	14,500	18,400	
	走行時間	[分]	12	8	
	走行時間費用	[億円/年]	32.85	38.15	
主な周辺道路	秋田中央 広域農道 : 14.0km	交通量	[台/日]	2,900	1,600
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	17.08	8.79
	主)秋田 北野田線 : 10.5km	交通量	[台/日]	2,900	1,000
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	11.50	4.07
	主)秋田空 港線 : 4.8km	交通量	[台/日]	2,000	800
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	4.86	1.91
	県)雄和協 和線 : 3.3km	交通量	[台/日]	2,300	1,000
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	5.75	2.61
その他道路合計 : 721.5km	走行時間費用	[億円/年]	2,582.22	2,575.90	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 760.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,654	2,631	22.83

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：河辺拡幅（事業全体）

【 図面（ 〇、 〇 ）に該当する道路を明示すること）】



交通状況の変化

事業名：河辺拡幅（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 [バイパス等] : 4.5km	交通量	[台/日]	13,100	17,700	
	走行時間	[分]	8	6	
	走行時間費用	[億円/年]	16.35	25.03	
主な周辺道路	秋田中央 広域農道 : 14.0km	交通量	[台/日]	2,900	1,600
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	16.90	8.79
	主) 秋田 北野田線 : 10.5km	交通量	[台/日]	2,900	1,000
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	11.51	4.07
	主) 秋田空 港線 : 4.8km	交通量	[台/日]	2,000	800
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	4.84	1.91
	県) 雄和協 和線 : 3.3km	交通量	[台/日]	2,300	1,000
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	5.72	2.61
その他道路合計 : 723.5km	走行時間費用	[億円/年]	2,591.96	2,589.02	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 760.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,647	2,631	15.85

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：河辺拡幅（残事業）

【 図面（ 、 に該当する道路を明示すること）】



費用便益分析の条件

事業名：河辺拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成17年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	平成15年8月12日付け事務連絡に基づく設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
	車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
	交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
		中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	時間短縮・費用減 少・事故減少以外 の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他				
費 用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		事務所等の実績値より設定 その他()	<input type="checkbox"/>	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他			
4. その他 上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:河辺拡幅(全事業)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

年次	年度	割戻率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
			0.299		6.60	1.9734
-24年目	H 3	1.7317	0.20	0.35		0.00
-23年目	H 4	1.6651	1.00	1.67		0.00
-22年目	H 5	1.6010	1.10	1.76		0.00
-21年目	H 6	1.5395	4.60	7.08		0.00
-20年目	H 7	1.4802	4.00	5.92		0.00
-19年目	H 8	1.4233	2.80	3.99		0.00
-18年目	H 9	1.3686	0.80	1.09		0.00
-17年目	H 10	1.3159	15.30	20.13		0.00
-16年目	H 11	1.2653	3.00	3.80		0.00
-15年目	H 12	1.2167	8.20	9.98		0.00
-14年目	H 13	1.1699	1.10	1.29		0.00
-13年目	H 14	1.1249	5.10	5.74		0.00
-12年目	H 15	1.0816	7.10	7.68		0.00
-11年目	H 16	1.0400	2.00	2.08		0.00
-10年目	H 17	1.0000	2.00	2.00		0.00
-9年目	H 18	0.9615	5.50	5.29		0.00
-8年目	H 19	0.9246	21.10	19.51		0.00
-7年目	H 20	0.8890	17.50	15.56		0.00
-6年目	H 21	0.8548	11.65	9.96		0.00
-5年目	H 22	0.8219	22.00	18.08		0.00
-4年目	H 23	0.7903	17.25	13.63		0.00
-3年目	H 24	0.7599	10.86	8.25		0.00
-2年目	H 25	0.7307	9.00	6.58		0.00
-1年目	H 26	0.7026	3.64	2.56		0.00
供用開始年次	H 27	0.6756		0.00	1.97	1.33
1年目	H 28	0.6496		0.00	1.97	1.28
2年目	H 29	0.6246		0.00	1.97	1.23
3年目	H 30	0.6006		0.00	1.97	1.18
4年目	H 31	0.5775		0.00	1.97	1.14
5年目	H 32	0.5553		0.00	1.97	1.09
6年目	H 33	0.5339		0.00	1.97	1.05
7年目	H 34	0.5134		0.00	1.97	1.01
8年目	H 35	0.4936		0.00	1.97	0.97
9年目	H 36	0.4746		0.00	1.97	0.93
10年目	H 37	0.4564		0.00	1.97	0.90
11年目	H 38	0.4388		0.00	1.97	0.86
12年目	H 39	0.4220		0.00	1.97	0.83
13年目	H 40	0.4057		0.00	1.97	0.80
14年目	H 41	0.3901		0.00	1.97	0.77
15年目	H 42	0.3751		0.00	1.97	0.74
16年目	H 43	0.3607		0.00	1.97	0.71
17年目	H 44	0.3468		0.00	1.97	0.68
18年目	H 45	0.3335		0.00	1.97	0.66
19年目	H 46	0.3207		0.00	1.97	0.63
20年目	H 47	0.3083		0.00	1.97	0.61
21年目	H 48	0.2965		0.00	1.97	0.58
22年目	H 49	0.2851		0.00	1.97	0.56
23年目	H 50	0.2741		0.00	1.97	0.54
24年目	H 51	0.2636		0.00	1.97	0.52
25年目	H 52	0.2534		0.00	1.97	0.50
26年目	H 53	0.2437		0.00	1.97	0.48
27年目	H 54	0.2343		0.00	1.97	0.46
28年目	H 55	0.2253		0.00	1.97	0.44
29年目	H 56	0.2166		0.00	1.97	0.43
30年目	H 57	0.2083		0.00	1.97	0.41
31年目	H 58	0.2003		0.00	1.97	0.39
32年目	H 59	0.1926		0.00	1.97	0.38
33年目	H 60	0.1852		0.00	1.97	0.36
34年目	H 61	0.1780		0.00	1.97	0.35
35年目	H 62	0.1712		0.00	1.97	0.34
36年目	H 63	0.1646		0.00	1.97	0.32
37年目	H 64	0.1583		0.00	1.97	0.31
38年目	H 65	0.1522		0.00	1.97	0.30
39年目	H 66	0.1463	-73.90	-10.81	1.97	0.29
合計			102.90	163.17	78.80	27.36
単純事業費計			176.80		78.80	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:河辺拡幅(残事業)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.299	4.50	1.3455

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-9年目	H 18	0.9615	5.50	5.29		
-8年目	H 19	0.9246	21.10	19.51		
-7年目	H 20	0.8890	17.50	15.56		
-6年目	H 21	0.8548	11.65	9.96		
-5年目	H 22	0.8219	22.00	18.08		
-4年目	H 23	0.7903	17.25	13.63		
-3年目	H 24	0.7599	10.86	8.25		
-2年目	H 25	0.7307	9.00	6.58		
-1年目	H 26	0.7026	3.64	2.56		
供用開始年次	H 27	0.6756		0.00	1.35	0.91
1年目	H 28	0.6496		0.00	1.35	0.88
2年目	H 29	0.6246		0.00	1.35	0.84
3年目	H 30	0.6006		0.00	1.35	0.81
4年目	H 31	0.5775		0.00	1.35	0.78
5年目	H 32	0.5553		0.00	1.35	0.75
6年目	H 33	0.5339		0.00	1.35	0.72
7年目	H 34	0.5134		0.00	1.35	0.69
8年目	H 35	0.4936		0.00	1.35	0.67
9年目	H 36	0.4746		0.00	1.35	0.64
10年目	H 37	0.4564		0.00	1.35	0.62
11年目	H 38	0.4388		0.00	1.35	0.59
12年目	H 39	0.4220		0.00	1.35	0.57
13年目	H 40	0.4057		0.00	1.35	0.55
14年目	H 41	0.3901		0.00	1.35	0.53
15年目	H 42	0.3751		0.00	1.35	0.51
16年目	H 43	0.3607		0.00	1.35	0.49
17年目	H 44	0.3468		0.00	1.35	0.47
18年目	H 45	0.3335		0.00	1.35	0.45
19年目	H 46	0.3207		0.00	1.35	0.43
20年目	H 47	0.3083		0.00	1.35	0.42
21年目	H 48	0.2965		0.00	1.35	0.40
22年目	H 49	0.2851		0.00	1.35	0.38
23年目	H 50	0.2741		0.00	1.35	0.37
24年目	H 51	0.2636		0.00	1.35	0.36
25年目	H 52	0.2534		0.00	1.35	0.34
26年目	H 53	0.2437		0.00	1.35	0.33
27年目	H 54	0.2343		0.00	1.35	0.32
28年目	H 55	0.2253		0.00	1.35	0.30
29年目	H 56	0.2166		0.00	1.35	0.29
30年目	H 57	0.2083		0.00	1.35	0.28
31年目	H 58	0.2003		0.00	1.35	0.27
32年目	H 59	0.1926		0.00	1.35	0.26
33年目	H 60	0.1852		0.00	1.35	0.25
34年目	H 61	0.1780		0.00	1.35	0.24
35年目	H 62	0.1712		0.00	1.35	0.23
36年目	H 63	0.1646		0.00	1.35	0.22
37年目	H 64	0.1583		0.00	1.35	0.21
38年目	H 65	0.1522		0.00	1.35	0.21
39年目	H 66	0.1463	-53.36	-7.81	1.35	0.20
合計			65.14	91.61	54.00	18.78
単純事業費計			118.50		54.00	

注1) 用地費は、評価対象期間最終年における用地残存価値を控除する。

注2) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本とする。

走行時間短縮便益の現在価値算定表

箇所名:河辺拡幅(全事業)

年次	年度 (基準年) H17	総走行台キロの年次別伸び率 (北東北ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)			
		乗用車	貨物車	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	1.00417	0.99598	1.00152	0.6756	14	1	3	5	23	16	0	0	0	0	0	0	0	0	24	16
1年目	H 28	1.00415	0.99596	1.00152	0.6496	14	1	3	5	23	15	0	0	0	0	0	0	0	0	24	16
2年目	H 29	1.00413	0.99595	1.00151	0.6246	14	1	3	5	23	15	0	0	0	0	0	0	0	0	24	15
3年目	H 30	1.00411	0.99593	1.00151	0.6006	14	1	3	5	23	14	0	0	0	0	0	0	0	0	24	14
4年目	H 31	1.00410	0.99591	1.00151	0.5775	14	1	3	5	24	14	0	0	0	0	0	0	0	0	24	14
5年目	H 32	1.00408	0.99590	1.00151	0.5553	14	1	3	5	24	13	0	0	0	0	0	0	0	0	24	13
6年目	H 33	0.99850	0.99377	0.99702	0.5339	14	1	3	5	23	13	0	0	0	0	0	0	0	0	24	13
7年目	H 34	0.99850	0.99374	0.99701	0.5134	14	1	3	5	23	12	0	0	0	0	0	0	0	0	24	12
8年目	H 35	0.99850	0.99370	0.99701	0.4936	14	1	3	5	23	12	0	0	0	0	0	0	0	0	24	12
9年目	H 36	0.99850	0.99366	0.99700	0.4746	14	1	3	5	23	11	0	0	0	0	0	0	0	0	24	11
10年目	H 37	0.99849	0.99362	0.99699	0.4564	14	1	3	5	23	11	0	0	0	0	0	0	0	0	24	11
11年目	H 38	0.99849	0.99357	0.99698	0.4388	14	1	3	5	23	10	0	0	0	0	0	0	0	0	24	10
12年目	H 39	0.99849	0.99353	0.99697	0.4220	14	1	3	5	23	10	0	0	0	0	0	0	0	0	24	10
13年目	H 40	0.99849	0.99349	0.99696	0.4057	14	1	3	5	23	9	0	0	0	0	0	0	0	0	23	10
14年目	H 41	0.99848	0.99345	0.99695	0.3901	14	1	3	5	23	9	0	0	0	0	0	0	0	0	23	9
15年目	H 42	0.99848	0.99340	0.99694	0.3751	14	1	3	5	23	9	0	0	0	0	0	0	0	0	23	9
16年目	H 43	0.99701	0.99500	0.99640	0.3607	14	1	3	5	23	8	0	0	0	0	0	0	0	0	23	8
17年目	H 44	0.99700	0.99498	0.99639	0.3468	14	1	3	5	23	8	0	0	0	0	0	0	0	0	23	8
18年目	H 45	0.99699	0.99495	0.99638	0.3335	14	1	3	5	23	8	0	0	0	0	0	0	0	0	23	8
19年目	H 46	0.99698	0.99493	0.99636	0.3207	14	1	3	5	23	7	0	0	0	0	0	0	0	0	23	7
20年目	H 47	0.99697	0.99490	0.99635	0.3083	14	1	3	5	22	7	0	0	0	0	0	0	0	0	23	7
21年目	H 48	0.99696	0.99487	0.99634	0.2965	14	1	3	5	22	7	0	0	0	0	0	0	0	0	23	7
22年目	H 49	0.99696	0.99485	0.99632	0.2851	14	1	3	5	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	23	7
23年目	H 50	0.99695	0.99482	0.99631	0.2741	14	1	3	5	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6
24年目	H 51	0.99694	0.99479	0.99630	0.2636	14	1	3	5	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6
25年目	H 52	0.99693	0.99477	0.99628	0.2534	14	1	3	5	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6
26年目	H 53	0.99603	0.99751	0.99647	0.2437	13	1	3	5	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6
27年目	H 54	0.99601	0.99751	0.99646	0.2343	13	1	3	5	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	22	5
28年目	H 55	0.99600	0.99750	0.99645	0.2253	13	1	3	5	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	22	5
29年目	H 56	0.99598	0.99749	0.99643	0.2166	13	1	3	5	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	22	5
30年目	H 57	0.99597	0.99749	0.99642	0.2083	13	1	3	5	22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	22	5
31年目	H 58	0.99595	0.99748	0.99641	0.2003	13	1	3	5	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4
32年目	H 59	0.99593	0.99747	0.99640	0.1926	13	1	3	5	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4
33年目	H 60	0.99592	0.99747	0.99638	0.1852	13	1	3	5	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4
34年目	H 61	0.99590	0.99746	0.99637	0.1780	13	1	3	5	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4
35年目	H 62	0.99588	0.99746	0.99636	0.1712	13	1	3	5	21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4
36年目	H 63	0.99587	0.99745	0.99634	0.1646	13	1	3	5	21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4
37年目	H 64	0.99603	0.99751	0.99647	0.1583	13	1	3	5	21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3
38年目	H 65	0.99603	0.99751	0.99647	0.1522	13	1	3	5	21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3
39年目	H 66	0.99603	0.99751	0.99647	0.1463	13	1	3	5	21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3
合計						546	45	114	194	899	317	7	0	1	5	13	4	7	2	919	324

走行時間短縮便益の現在価値算定表

箇所名: 河辺抜幅(残事業)

年次	年度 (基準年) H17	総走行台キロの年次別伸び率 (北東北ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%	
																						②計
供用開始年次	H 27	1.00417	0.99598	1.00152	0.6756	12	0	1	2	16	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	11
1年目	H 28	1.00415	0.99596	1.00152	0.6496	12	0	1	2	16	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	11
2年目	H 29	1.00413	0.99595	1.00151	0.6246	13	0	1	2	16	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	10
3年目	H 30	1.00411	0.99593	1.00151	0.6006	13	0	1	2	16	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	10
4年目	H 31	1.00410	0.99591	1.00151	0.5775	13	0	1	2	16	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	10
5年目	H 32	1.00408	0.99590	1.00151	0.5553	13	0	1	2	16	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	9
6年目	H 33	0.99850	0.99377	0.99702	0.5339	13	0	1	2	16	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	9
7年目	H 34	0.99850	0.99374	0.99701	0.5134	13	0	1	2	16	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	8
8年目	H 35	0.99850	0.99370	0.99701	0.4936	13	0	1	2	16	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	8
9年目	H 36	0.99850	0.99366	0.99700	0.4746	13	0	1	2	16	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	8
10年目	H 37	0.99849	0.99362	0.99699	0.4564	13	0	1	2	16	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	7
11年目	H 38	0.99849	0.99357	0.99698	0.4388	13	0	1	2	16	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	7
12年目	H 39	0.99849	0.99353	0.99697	0.4220	13	0	1	2	16	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	7
13年目	H 40	0.99849	0.99349	0.99696	0.4057	13	0	1	2	16	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	7
14年目	H 41	0.99848	0.99345	0.99695	0.3901	12	0	1	2	16	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6
15年目	H 42	0.99848	0.99340	0.99694	0.3751	12	0	1	2	16	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6
16年目	H 43	0.99701	0.99500	0.99640	0.3607	12	0	1	2	16	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6
17年目	H 44	0.99700	0.99498	0.99639	0.3468	12	0	1	2	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6
18年目	H 45	0.99699	0.99495	0.99638	0.3335	12	0	1	2	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5
19年目	H 46	0.99698	0.99493	0.99636	0.3207	12	0	1	2	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5
20年目	H 47	0.99697	0.99490	0.99635	0.3083	12	0	1	2	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5
21年目	H 48	0.99696	0.99487	0.99634	0.2965	12	0	1	2	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5
22年目	H 49	0.99696	0.99485	0.99632	0.2851	12	0	1	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	4
23年目	H 50	0.99695	0.99482	0.99631	0.2741	12	0	1	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	4
24年目	H 51	0.99694	0.99479	0.99630	0.2636	12	0	1	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	4
25年目	H 52	0.99693	0.99477	0.99628	0.2534	12	0	1	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4
26年目	H 53	0.99603	0.99751	0.99647	0.2437	12	0	1	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4
27年目	H 54	0.99601	0.99751	0.99646	0.2343	12	0	1	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	4
28年目	H 55	0.99600	0.99750	0.99645	0.2253	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
29年目	H 56	0.99598	0.99749	0.99643	0.2166	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
30年目	H 57	0.99597	0.99749	0.99642	0.2083	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
31年目	H 58	0.99595	0.99748	0.99641	0.2003	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
32年目	H 59	0.99593	0.99747	0.99640	0.1926	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
33年目	H 60	0.99592	0.99747	0.99638	0.1852	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
34年目	H 61	0.99590	0.99746	0.99637	0.1780	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
35年目	H 62	0.99588	0.99746	0.99636	0.1712	12	0	1	2	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3
36年目	H 63	0.99587	0.99745	0.99634	0.1646	12	0	1	2	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2
37年目	H 64	0.99603	0.99751	0.99647	0.1583	11	0	1	2	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2
38年目	H 65	0.99603	0.99751	0.99647	0.1522	11	0	1	2	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2
39年目	H 66	0.99603	0.99751	0.99647	0.1463	11	0	1	2	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2
合計						487	12	45	76	621	219	5	0	0	3	8	3	1	0	630	222	

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道13号 河辺拡幅
事業主体	東北地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 1.7 (経済的純現在価値 (B-C) = 133億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 6.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b (一般国道13号 河辺拡幅) について 並行区間等の渋滞損失時間: 59.5万人・時間/年 → 13.0万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率: 約8割削減
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	旧河辺町役場前 改善見込み (17 km/h ⇒ 48 km/h) (上り) 河辺跨線橋 改善見込み (16 km/h ⇒ 47 km/h) (下り)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	(株)秋田中央交通 岩見三内線
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	JR秋田駅、大仙市協和地区 改善見込み (大仙市協和地区～JR秋田駅、55分⇒52分、河辺拡幅区間8分⇒5分 32 km/h ⇒ 53 km/h)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	秋田空港、大仙市協和地区 改善見込み (大仙市協和地区～秋田空港、31分⇒28分、河辺拡幅区間8分⇒5分 32 km/h ⇒ 53 km/h)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	秋田港、大仙市協和地区 改善見込み (大仙市協和地区～秋田港、75分⇒72分、河辺拡幅区間8分⇒5分 32 km/h ⇒ 53 km/h)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		■ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	河辺都市計画区域 幹線都市計画道路網密度の変化 (0.03km/km2⇒0.09km/km2)
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	

		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	大仙市協和地区～秋田市中心部改善見込み(58分⇒55分)
個性ある地域の形成		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	秋田わか杉国体(平成19年開催)
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	角館町(武家屋敷、さくら祭り)(年間入込客数259万人) 田沢湖町(田沢湖、乳頭温泉)(年間入込客数290万人) ※平成15年 秋田県観光統計(秋田県産業経済労働部観光課)
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	都市計画公園 北野田公園(約5.6ha、秋田わか杉国体テニスコート)
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
		<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	大仙市協和地区⇒秋田赤十字病院改善見込み(37分⇒34分)	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	該当区間の自動車交通量 18,057台/12h 河辺小学校の通学路に該当(利用学童 144名)、歩道狭小延長 1.8km(1.5m未満)
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	秋田県地域防災計画および緊急輸送道路ネットワーク計画に第1次緊急輸送道路線として位置づけ
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	秋田自動車道、代替する区間(協和IC～秋田南IC)	
	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A'路線としての位置づけがある場合)		

		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：3,400t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	一般国道13号秋田市河辺和田地区において夜間要請限度超過（71dB、1箇所） 改善の見込み 71dB⇒64dB 類型指定等なし（準工業地域）
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	